

小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ)



「鬼滅の刃」「市松模様」「魔方陣」

噺のまくらシリーズ

⑤ 「六日知らず」

けちを俗に「六日知らず」という。日にちを勘定するとき1日、2日……と指を折って、5日で握りこぶしとなる。一度握ったら放さないから6日以上は数えられない。吝嗇(りんしょく)を笑う落語のまくらだ。けちが噺のたねにされるのは寄席のお約束です。

ケチのことを、他にも吝嗇(りんしょく)しわいや、赤螺屋、しわんぼう、しわいや、などという。落語ではケチの咄というものがたくさんある。

吝兵衛さんという方がおりまして、大変にお金を貯めた。命よりもお金が大切だという人。この人に「始末の極意」を尋ねたら・・・

吝兵衛さんがさくらんぼうを食べた。勿体ないからと言って種まで飲み込んで、やがて桜の木が生えた。桜の花が咲く・・・「あたま山」

吝兵衛さんが、丁稚の定吉に「お隣に行って、カナツチを借りてきておくれ」と頼んだが、定吉「行ってきましたが、カナツチが減るからと貸してくれませんでした。」・・・

吝兵衛さん「ケチな奴だ。だったら、うちのを使え」

■ 二つ目 (小咄の稽古)

小ばなしの話し方のコツ・ツボをディスカッションしよう！

今月のテーマは「大きな声の出し方」

プロの噺家と社会人落語家の違いは何か？と

圓王師匠に尋ねたら「声の大きさだ」と答えた。・・・？

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「マフラー」「サンタクロース」とかけて

次回は2021年1月11日(月・成人の日休日)「牛・丑」「手袋」